

鉄道修復事業



修復後の軌道・架線（バルパライソ通勤線）

[借款概要]

承諾額/実行額	6,412百万円 / 6,412百万円
借款契約調印	1992年11月
借款契約条件	金利3.0%、返済25年（据置7年）
貸付完了	1999年9月

[事業概要]

チリ国鉄の軌道・電化設備、機関車・客車等を修復することにより、旅客・貨物輸送力を増強し、国鉄の再建と経済社会活動の活性化に寄与するもの。

[評価結果]

本事業により、老朽化が激しい首都圏通勤線を中心に約1,900kmの軌道修復、116橋の橋梁改修及び655kmの架線改修が実施されるとともに、機関車14両、客車3編成の修理が行われた。

修復工事が1999年に完成したことにより、列車の安全性が向上したとされており、国鉄全体の脱線等の事故は、1993年の754件から2000年の272件まで減少した。安全性の向上に伴い、運行速度も平均20～30%増加し、対象路線の所要時間が短縮されている。

旅客数については、西部の港湾都市バルパライソ都市圏通勤線で、事業開始前の1994から96年の平均旅客数に対し2000年の実績は約18%の増加となっている。また、サンティアゴ首都圏近郊線では、1998年から2000年に年平均24%の割合で大幅に増加した。

国鉄の経営再建については、採算性の高い路線への対応を重視し、人員削減等の効率化策を実施するなど努力されているが、依然厳しい状況にある。なお、維持管理部門には必要な人員が配置され、体制・技術面の問題は見られない。